

VEGETABLE RECORD

「音楽の新しい楽しみ方・価値観を創る」

Vegetable Recordは「音楽の新しい楽しみ方や価値観を創る」をコンセプトに掲げた音楽ユニットです。ソロアーティストのSyotaro HayashiとRyota Mikamiにより2013年に結成されました。

私たちは、デジタル/空間/プロダクトなどあらゆる対象を、CD/カセット/レコードと同じ音楽のメディアと捉えて、建築空間やプロダクトに対して音楽作品をリリースするように「音楽を使った空間デザイン」「音楽を使ったプロダクトデザイン」を手がけています。





Design Using Music

音楽を使ったデザイン

デザインの文脈で語られることが少ない「音楽（ミュージック）」。私たちは「建築」「家具」「照明」「制服」「ロゴ」「グラフィック」「音（サウンド）」などと同じように、空間やものを構成する重要なデザイン要素として楽曲を捉えた、機能的で美しい音楽を追求しています。

私たちの作る音楽は、その場所やものならではのユニークなポイント（空間の特性、サービスの特徴、周りの環境音や地域の古い民謡など）を活かし、その空間に適した音楽を作曲していきます。何種類もの音楽のフレーズが、呼吸するように有機的に再生され、始まりも終わりもない音楽が流れます。楽曲の切り替わりに意識をとられることなく、その空間のためにデザインされた音楽が空間を豊かにしていきます。

"Music" is rarely in the context of design. We pursue functional and beautiful music that consider music as an important design element that composes spaces and things, such as "Architecture", "Furniture", "Lighting", "Uniform", "Logo", "Graphics" and "Sound" and so on.

The music we create is designed to take advantage of the unique points of a place or thing (e.g. characteristics of the space, services, surrounding environmental sounds, old local folk songs). Several kinds of musical phrases are played organically, as if breathing, music without beginning or end. The space is enriched by the music designed for the space, without being caught up in the switching of music.



ひとつの絵画の中で同時に様々なことが起きている「一枚絵」のように、様々な音楽フレーズが同居し、その場所の空気感と共存していく

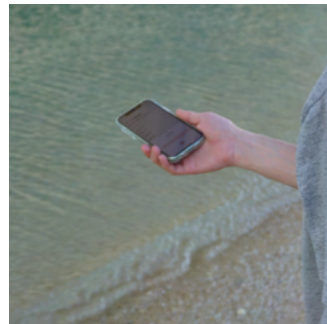
Various musical phrases coexist and intertwine at the same time to create the music of the moment



Site-specific Music サイトスペシフィック・ミュージック

現代アートの「サイトスペシフィック・アート（=特定の場所に存在するために制作された作品）」と同じように、その場所やものならではのユニークなポイント（空間の特性、サービスの特徴、周りの環境音や地域の古い民謡など）を活かした音楽「サイトスペシフィック・ミュージック」を目指しています。

Similar to "Site-specific Art", we aim to create music "Site-specific Music" that takes advantage of the unique points of places and things.

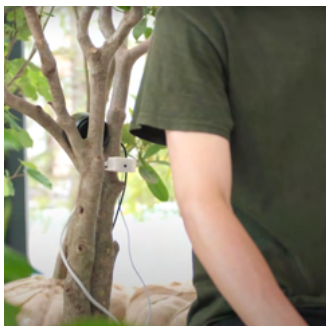




Music Approach 音楽演出

空間の特性や施設の音響状況によって、その場所に合わせた音楽演出をしています。スピーカーやアンプなどの音響機器の選定、既存設備を活かした楽曲アプローチ、機器の配置提案、音楽のインストールなど、複合的にを行っています。

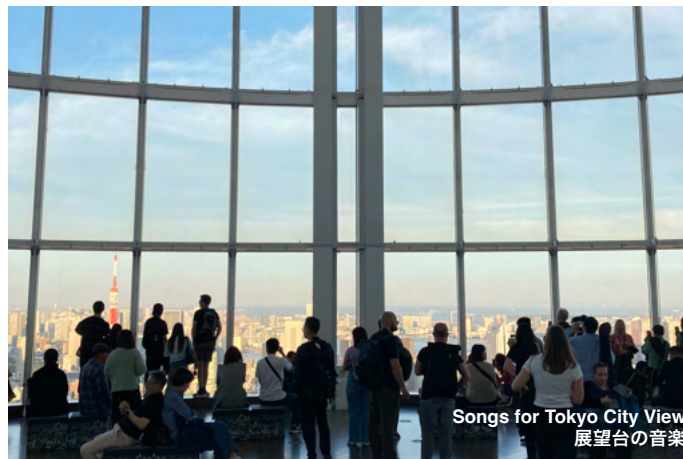
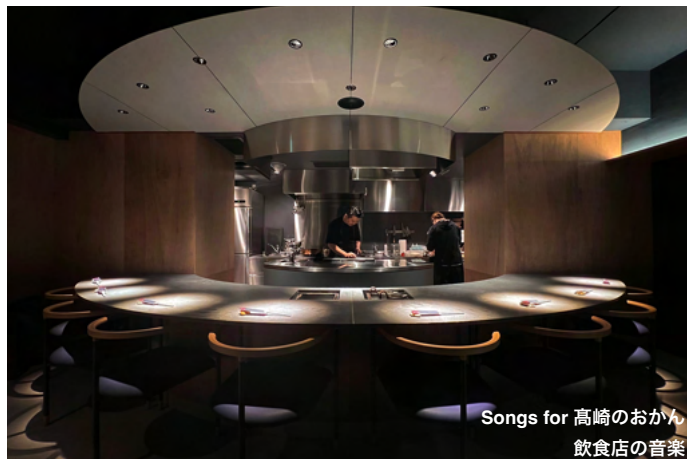
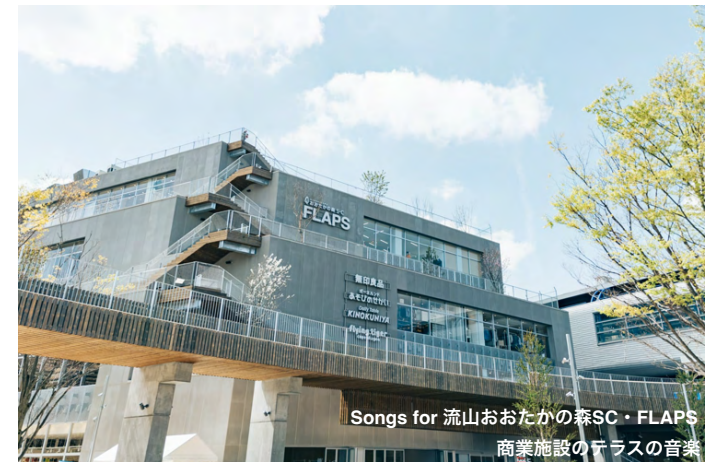
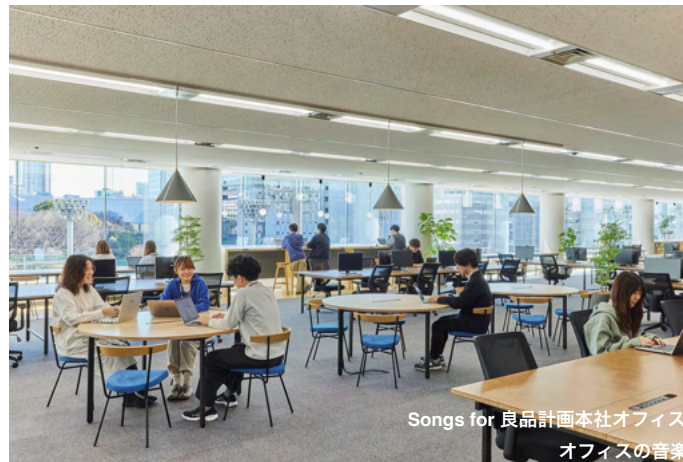
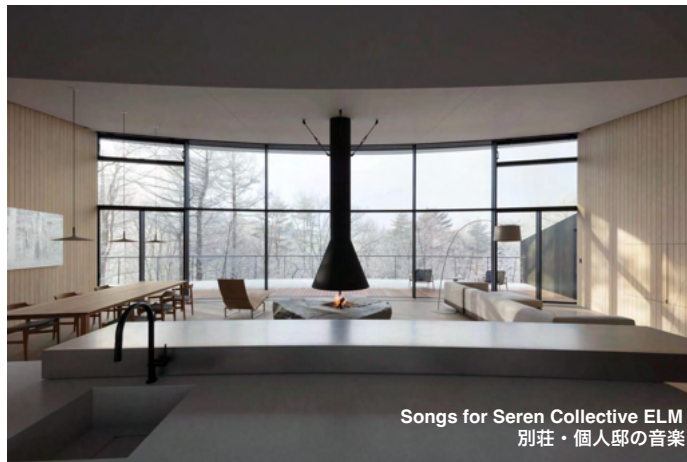
Depending on the characteristics of the space and the acoustic conditions of the facility, we tailor the music approach to suit the location.



Spatial Design Using Music

音楽を使った空間デザイン

「建築」「家具」「グラフィック」などと同じように、空間やプロダクトを構成する重要なデザイン要素として楽曲を捉えた「音楽を使った空間デザイン」を各所にて実施しています。マンションやモデルルームをはじめ、ホテル・オフィス・商業施設・公共空間・温浴施設・飲食店・病院・ショップなど、オリジナル音楽を使って様々なアプローチをしています。



Songs for ONSEN RYOKAN 由縁 新宿

ホテル空間の音楽

音楽を使った空間デザイン。

UDS株式会社が手がける宿泊施設「ONSEN RYOKAN 由縁 新宿」の1F レセプション、18F 温泉ラウンジ、四季の音楽とレストラン「夏下冬上」の時間帯の音楽。

「ひとつの楽器のみで春夏秋冬を表現する」をコンセプトに、レセプションとラウンジはピアノの同じモチーフを用いつつ、レセプションではモノトーン（単音）、ラウンジではハーモニー（和音）に仕上げました。入口ではモノクロで凜とした印象のフレーズが、EVで最上階まで上がると和らぎ色づくようなイメージで制作。

また、レストランはアコースティックギターのみで「朝・昼・夜」を即興演奏で表現。レストラン全体に差し込む陽光をイメージして、朝は爽やかで涼しげ、昼は柔らかで穏やか、夜は凜としてやや緊張感のある雰囲気を目指しました。同ブランドの系列店「ONSEN RYOKAN 由縁 札幌」の音楽も同じ音楽コンセプトを引き継ぎ、ホテルのブランドとしての統一感を作っています。

音色

ピアノ
凜
和らぎ

演出

1F 単音 → 18F 和音に変化
(連続性の演出)
四季で変化

ブランド理解

系列店の統一感

機能・効果

非日常を演出
ホテルの世界観を表現



Photo by ナカザアンドパートナーズ

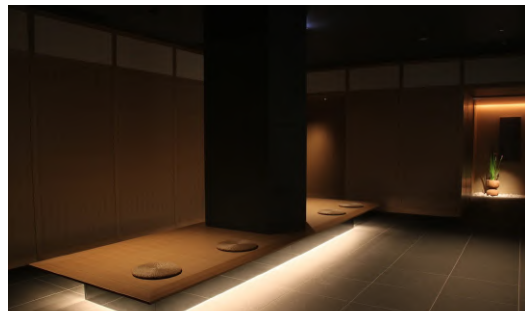
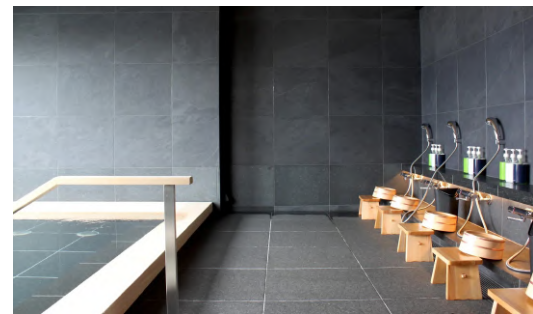


Photo by ナカザアンドパートナーズ

Songs for アマネク別府ゆらり

ホテル空間の音楽

音楽を使った空間デザイン。

株式会社アマネクが手がける宿泊施設「アマネク別府ゆらり」「アマネクイン別府」の館内音楽。

楽曲コンセプトは「竹細工と湯けむり」。別府の竹細工の緻密な組み合わせや、地獄めぐりの色とりどりの湯から立ち上る湯けむりをイメージして制作。

1Fの天井スピーカー、屋上スピーカー、小型スピーカー14台と、合計15曲（バリエーションも含めると合計29曲）を使って館内全体を音楽でデザイン・演出。1Fの天井スピーカーからはベースとなる動的な心地よいリズムのある楽曲を流し、フロアの各ゾーン毎に（ライブラリ・レセプション・レストラン）小型スピーカーを複数台配置。調性を揃えつつ、それぞれ異なる楽曲を時間帯毎に再生させることで、各ゾーンを音楽がグラデーションのように変化する、回遊性が高まる演出を試みました。また、同敷地内にあるアマネク別府ゆらり～アマネクイン別府を同じ調性にする事で、建物間の連続性をもたせました。

音色

カラフル
グルーヴ感
ジャズ・ボサノヴァ・AORの要素

演出

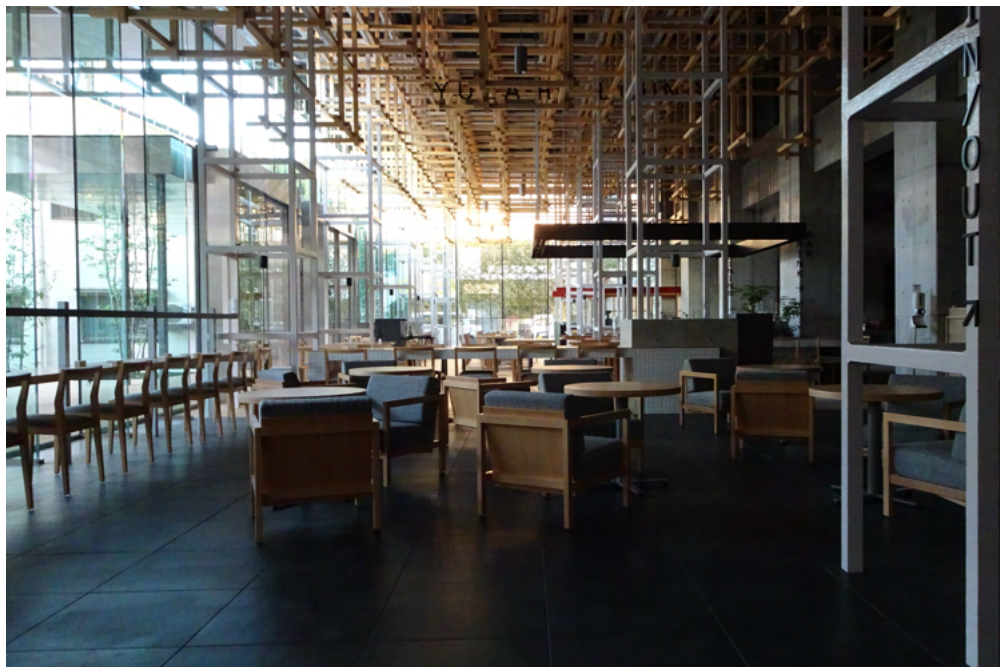
建物間の連続性の演出
天井スピーカー+置き型スピーカーの組み合わせ
ゾーン毎にグラデーションのような変化

ブランド理解

別府の温泉・竹細工から
着想した音楽演出

機能・効果

非日常を演出
ホテル・地域の特性を表現
ゾーン毎の音楽変化



Songs for レ・ジェイドクロス千代田神保町

マンション展示空間の音楽

音楽を使った空間デザイン。

株式会社日本エスコンが手がけるマンション「レ・ジェイド クロス 千代田神保町」のモデルルームの音楽。

音楽のコンセプトは「交流」「異国」「白亜」。モデルルームの5ヶ所（シーリング、ダイニング、寝室、書斎、模型展示ホール）から流れる5種類の楽曲が空間で混ざり合うことでひとつの音楽が完成。それぞれの楽曲は、少し異国感がある古楽器や民族楽器を取り入れた、涼しげで柔らかい雰囲気仕上げました。

また、パンフレットのQRコードから楽曲をフリーダウンロードできる仕掛けを施しました。

音色

異国感
古楽器や民族楽器
涼しげ

演出

エントランス～モデルルームまでの
フロア毎の音楽

ブランド理解

デザインの特徴
立地の特徴を音楽に活かす

機能・効果

非日常を演出
回遊性
ゾーン毎の音楽変化
パンフレットから音楽DL



Songs for プレミスト浦添港川

マンションの音楽

音楽を使った空間デザイン。

大和ハウス工業株式会社が手がける、沖縄県浦添市の分譲マンション「プレミスト浦添港川」の音楽。

デザインコンセプト「FUTURE」「TREE」「RESORT」から着想を得て、6曲制作。1日（24時間）の中で一定のトーンは保たせながらも、時間帯による雰囲気の変化をつけました。琉球古典音楽の旋律やリズムと「都会的で洗練された雰囲気」「無国籍的なリラックスした雰囲気」が融合した、新しい沖縄のリゾート音楽を目指しました。

また、モデルルーム内でも同曲を流し、マンション空間の雰囲気や空気感を先行して体感いただく試みを実施。内覧会では音楽ワークショップを屋上で開催。完成した音楽を再生しながら、実際に楽曲制作で使用した楽器を体験できるワークショップを行いました。販売前～販売後まで住民の方々と交流をもつことで、音楽に愛着をもってもらえるようなアプローチになりました。

音色

ウッディ
琉球古典音楽
波のリズム・リラックス

演出

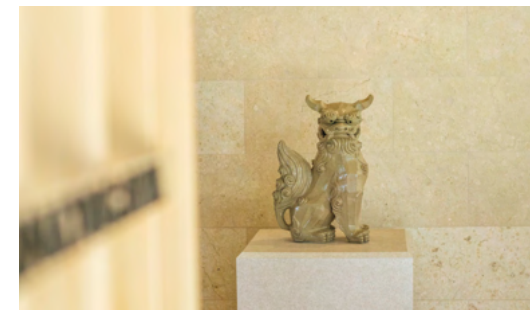
時間帯で変化(朝昼夜)

ブランド理解

モデルルームの音楽
楽器体験ワークショップの実施

機能・効果

リラックスと安心感
住民との音楽を通じた交流



Songs for 良品計画本社オフィス

オフィス空間の音楽

複数の音楽/スピーカーを使った空間デザイン。
2024年2月に移転した、株式会社良品計画の新オフィスの音楽。

音楽の全体コンセプトは「余白」「ナチュラル」「自然だけすぎない」。「はたらく場所（5F・7F 執務エリア）」「あつまる場所（1F サロンスペース、5F 中央コミュニケーションエリア）」「時報」と、場所や機能に応じた3種類の楽曲を制作。働いている人たちがオフィス内でも自然を感じられるような有機的な音楽を目指しました。

また、良品計画の社員を主に対象にした「はたらく場の音づくりワークショップ」をオフィスにて実施。「無印良品の音ってどんなイメージ?」「いい仕事ができる音ってどんなイメージ?」をテーマにイラストや文字で表現していただき、無印良品のプロダクトを「叩く」「鳴らす」「弾く」「振る」などした音を録音し、「あつまる場所の音楽」に音楽要素として活かしました。

音色

アコースティック
ナチュラル

演出

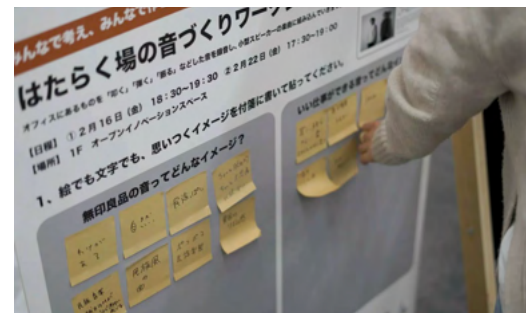
エリアで音楽を変化
時報チャイムをオリジナルで作曲
商品の”音”を曲に組み込む

ブランド理解

社員参加型ワークショップ
働く場の音についてのアンケート

機能・効果

集中とリラックス
時報による仕事の切り替え



Songs for NIPPONの47 2025 CRAFT

展示・イベント空間の音楽

複数の音楽/スピーカーを使った空間デザイン。

D&DEPARTMENT PROJECTによる47都道府県をテーマとしたミュージアム「d47 MUSEUM」にて開催された「NIPPONの47 2025 CRAFT 47の意志にみるこれからのクラフト」の展示会場と音声ガイド（ポッドキャスト）の音楽。

音楽のコンセプトは「クラフト」「天然素材のブレ」。展示コンセプトなどから着想を得て楽曲制作。楽器本来の鳴りやノイズなどを活かした音素材を使用した、静けさとオープンな雰囲気を感じられる、この場所やポッドキャストならではの音楽を目指しました。

ポッドキャストでは、オープニング～本編～エンディングに使用。d47 MUSEUMでは、ポッドキャストの音楽を4分割し、空間内の4ヶ所に小型スピーカーを設置。4曲は互いにズレ続けながらも空間で混ざり合うことで、グラデーションのような有機的な空間を形作します。展示からポッドキャストへの連続性を音楽で作りしました。

音色

生演奏
アコースティック
クラフト

演出

空間の中で混ざり合う音楽
ポッドキャストとの連続性

ブランド理解

展示のテーマから音楽を作曲

機能・効果

4か所の異なる音楽が
混ざり合う事で飽きない・
ループが気にならない



Songs for 流山おおたかの森S・C FLAPS

商業施設の音楽

複数の音楽/スピーカーを使った空間デザイン。
商業施設「流山おおたかの森S・C FLAPS」のテラスの音楽。

音楽のコンセプトは「オオタカが目線」「広場の賑わい」「ステップ」。上昇気流に乗ってのびやかに飛ぶオオタカが、FLAPSと賑やかな広場を見下ろしているようなイメージを音楽で表現。賑やかな南アフリカ音楽の要素を取り入れながら、陽光あふれる森の中のような、明るく、健康的で楽しい音楽空間を目指しました。

2021年7月、2022年3月、2022年8月に楽曲をアップデート。天井スピーカーからは、ベースとなる楽曲に加えて、音集めワークショップ参加者がフィールドレコーディングした音や合奏したマリンバの音を散りばめています。テラス各所の植栽帯に配置された小型スピーカーからは、各階に合わせた異なる音楽を再生。フロアを上がるごとに音色の重なりが変化し、テラスを駆け上がる楽しさを演出する、この場所ならではのユニークな音楽体験を作りました。

音色

楽しげ・にぎやか
明るい・健康的
様々な楽器

演出

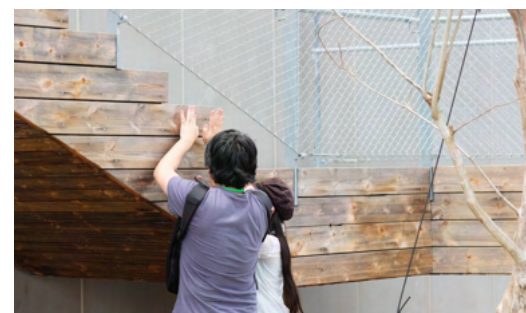
テラス+各フロア毎に異なる音楽

ブランド理解

音集めワークショップを開催
参加者が採集した音を入れて
音楽をアップデート

機能・効果

市民と一緒に音楽を作る
屋外の環境音と溶け合うような音作り



Songs for 柏駅東口ペデストリアンデッキ

公共空間の音楽

複数の音楽/スピーカーを使った空間デザイン。
柏駅東口ペデストリアンデッキの音楽。

音楽コンセプトは「Plants」「デッキ」。LOA LANDSCAPE STUDIOがデザインした場所ごとの植栽（常緑樹、落葉樹、グラス、主根草）や、デッキから着想を得て5曲制作。

柏駅東口～旧SOGOまでのアプローチの植栽帯5ヶ所に5台のスピーカーを設置。それぞれの音楽が重なり合い、居る場所によって音楽の聴こえ方が変化したり、歩いていくとグラデーションのように音楽が変化する演出を試みました。

音色

カラフル
グラデーション
パーカッシブ

演出

植栽帯毎に異なる音楽

ブランド理解

自然環境のような音構造・設計

機能・効果

滞在時間向上
通行人・利用者に配慮した音作り



Songs for 異人池建築図書館喫茶店

カフェ・図書館・オフィスの音楽

複数の音楽/スピーカーを使った空間デザイン。

建築設計事務所「EA Research and Design Office」が企画運営する「異人池建築図書館喫茶店」の音楽。

音楽のコンセプトは「異人池」「ケヤキ」「どっぺり坂」。異人池の成り立ちや周辺環境から着想を得て、7曲制作。本棚上段のスピーカーと店内に点在させた小型スピーカー9台から再生。それぞれの曲はズレ続けながらも調和し合い、いる場所によって聴こえ方がグラデーションのように変化する。心地よい静けさを感じられる、有機的な音楽空間を作りました。

また、カトリック新潟教会で録音したパイプオルガンの音や教会の鐘の音、窓から見えるケヤキのざわめき、どっぺり坂を走る足音、寄居浜の海の音、西海岸公園の鳥の声、古町商店街の雨音など、建築にゆかりのある周辺の環境音が楽曲内に散りばめられています。

音色

静けさ
心地よい

演出

異なる音楽が混ざり合う
いる場所によって聴こえ方が変化

ブランド理解

街の環境音を採取
自然環境のような音構造・設計

機能・効果

滞在時間・居心地の向上
カフェ・図書館・オフィス空間に
適した音楽



Songs for Seren Collective ELM

別荘・個人邸の音楽

複数の音楽/スピーカーを使った空間デザイン。

株式会社ボルテックスが手がける高級別荘ブランド「Seren Collective」シリーズのひとつ、「ELM」の音楽。

シリーズの全体コンセプトは「Serenity（平穏、静穏）」「Serendipity（思いもよらない偶然がもたらす幸せ）」。エントランスとキッチン、バスルームとサウナ、テラスの3ゾーンを異なる音楽にすることで、場所ごとの変化を感じられるような体験を作りました。ふとした瞬間にそれぞれの音楽が混ざり合う、同じ瞬間のない偶然性のある音楽演出を試みました。

楽曲の全体コンセプトは「逆円錐」「扇」「ビューポイント」。建物の構造や、幾何学的なデザイン、ダイナミックに見える森の景色からインスピレーションを得て楽曲制作しました。

音色

静けさと安心感
ピアノ
建築デザインから着想

演出

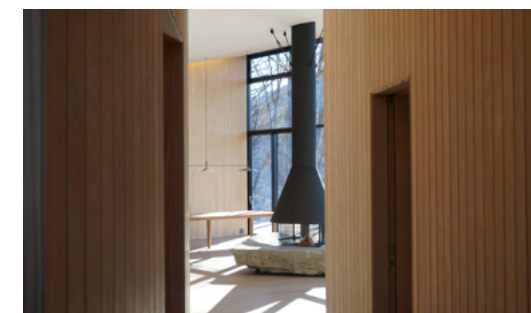
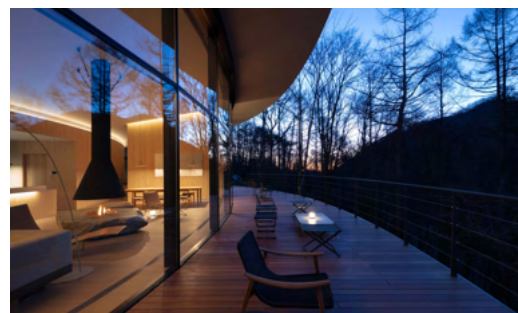
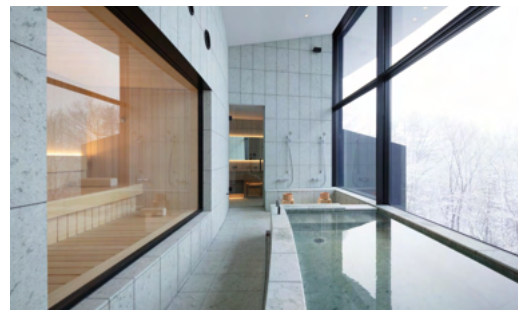
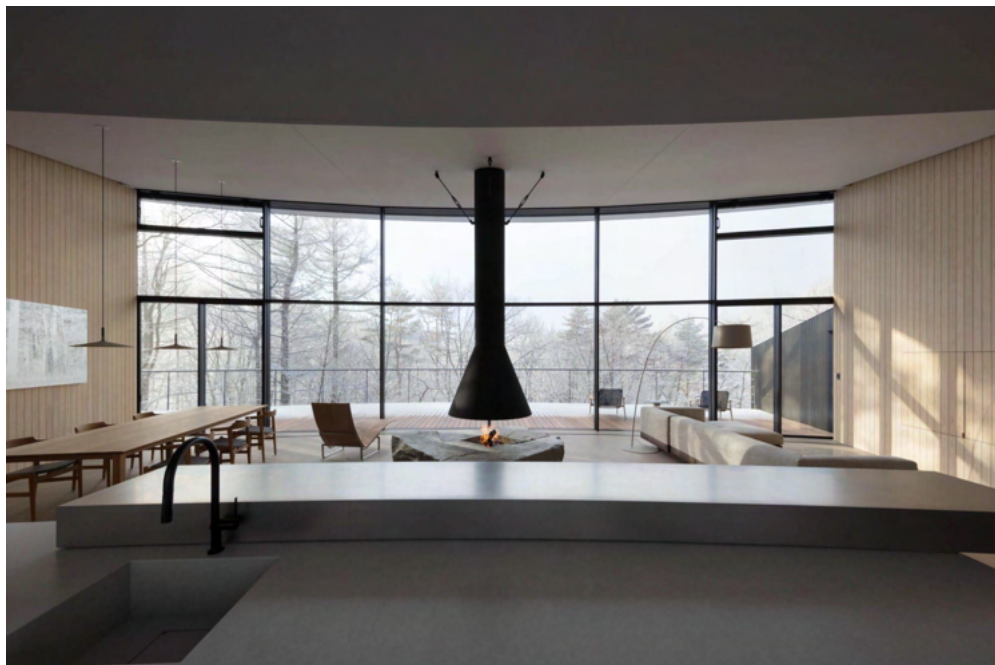
異なる音楽が混ざり合う
偶然性

ブランド理解

ブランドのコンセプトを
音楽演出に組み込む
シリーズ展開することで、音楽を使った
ブランディングを試みた

機能・効果

用途・ゾーン毎に音楽を変化
四季で移ろぐ景色と音楽



Business Lineup

業務内容

制作の流れ

- ・ ヒアリング（ブランド理解、要件把握）
- ・ 音楽コンセプト設定（現地リサーチ、レコーディング）
- ・ 音楽演出の提案、音響機器の選定・配置
- ・ オリジナル音楽制作（作詞、作曲、編曲、ミキシング、マスタリング）
- ・ 楽曲納品（現地インストール、アフターメンテナンス）
- ・ 音楽ディストリビュート（デジタル配信、CD制作など）
- ・ 販促・プロモーション（ライブ、ワークショップ、インスタレーションなどのイベント企画・開催）

VEGETABLE RECORD



Vegetable Recordは「音楽の新しい楽しみ方や価値観を創る」をコンセプトに掲げた音楽ユニット。ソロアーティストのSyotaro HayashiとRyota Mikamiにより2013年に結成。

デジタル/空間/プロダクトなどあらゆる対象を、CD/カセット/レコードと同じ音楽のメディアと捉えて、建築空間やプロダクトに対して音楽作品をリリースするように「音楽を使った空間デザイン」「音楽を使ったプロダクトデザイン」を手がけています。

デザインの文脈で語られることが少ない「音楽（ミュージック）」。私たちは「建築」「家具」「照明」「制服」「ロゴ」「グラフィック」「音（サウンド）」などと同じように、空間やものを構成する重要なデザイン要素として楽曲を捉えた、機能的で美しい音楽を追求しています。

私たちは、その場所やものならではのユニークなポイント（空間の特性、サービスの特徴、周りの環境音や地域の古い民謡など）を活かした、その空間に適したサイトスペシフィックな音楽を作曲しています。何種類もの音楽のフレーズが、呼吸するように有機的に再生され、始まりも終わりもない音楽が流れます。楽曲の切り替わりに意識をとらわれることなく、その空間のためにデザインされた音楽が空間を豊かにしていきます。



ひとつの絵画の中で同時に様々なことが起きている「一枚絵」のように、
様々な音楽フレーズが同居し、その場所の空気感と共存していく

Spatial Design Using Music 音楽を使った空間デザイン

「建築」「家具」「グラフィック」などと同じように、空間やプロダクトを構成する重要なデザイン要素として楽曲を捉えた「音楽を使った空間デザイン」を各所にて実施しています。マンションやモデルルームをはじめ、ホテル・オフィス・商業施設・公共空間・温浴施設・飲食店・病院・ショップなど、オリジナル音楽を使って様々なアプローチをしています。



Songs for SEABURG CAFE, BAR & HOTEL



Songs for 良品計画本社オフィス



Songs for 高山おたかの森SC・FLAPS



Songs for Seren Collective ELM



Songs for Tokyo City View



Songs for 高崎のおかん

Site-specific Music サイトスペシフィック・ミュージック

現代アートの「サイトスペシフィック・アート（=特定の場所に存在するために制作された作品）」と同じように、その場所やものならではのユニークなポイント（空間の特性、サービスの特徴、周りの環境音や地域の古い民謡など）を活かした音楽「サイトスペシフィック・ミュージック」を目指しています。

